

栃木高校 一人一研究 『発表』に関するルーブリック

1 明確な内容(speech)

ここでいう、明確にすべき内容とは、introductionとして「これまでの先行研究でわかっている事実」「先行研究に対する自分の研究の位置付け」「研究の社会的意義」を、conclusionとして「自分の研究で明らかになったこと」「今後の課題」を指す。これらがわかりやすく伝わるように構成されている必要がある。			
	introductionについて	conclusionについて	volume(time)について
十分 評価4	「これまでの先行研究でわかっている事実」「先行研究に対する自分の研究の位置付け」「研究の社会的意義」が明確に分かるように構成されている。また、プレゼンテーションの内容が事実に基づいていて、正確であるとともに、必要な情報がすべて盛り込まれている。また、聴衆に分かりやすい構成になっている。	情報は論理的に分かりやすく配列されている。次に何が述べられかということが聞いていて予想しやすい展開である。「自分の研究で明らかになったこと」「今後の課題」が明確に示されている。また、研究の目的(仮説)に示した内容と結論が的確に整合している。	決められた時間内(5分)で説明し、聞き手が十分理解できるスピードである。
おおむね十分 評価3	プレゼンテーションは概ね必要な情報が入っている。しかし、「これまでの先行研究でわかっている事実」「先行研究に対する自分の研究の位置付け」「研究の社会的意義」のいずれかが少し分かりにくい、あるいは曖昧さがあり、明確に伝わらない。	情報は論理的に分かりやすく配列されているが、「自分の研究で明らかになったこと」「今後の課題」がやや不明瞭である。また、研究の目的(仮説)に示した内容と結論にやや整合していない箇所がある。	決められた時間内で説明できているが、早口であったり、情報が多すぎたりして聞き手が十分理解できていない。
やや不十分 評価2	「これまでの先行研究でわかっている事実」「先行研究に対する自分の研究の位置付け」「研究の社会的意義」のいずれかが示されていない。自分の行った研究については正確に表現できているが、必要な情報が抜けている箇所もあり、全体的にやや分かりにくい。	研究によって得られた事実は述べられているが、「自分の研究で明らかになったこと」が明確に伝わらない。あるいは「今後の課題」に触れていない。	冗長であったり、逆に情報不足である。聞き手に与える情報を取捨選択し増減する必要がある。
不十分 評価1	「これまでの先行研究でわかっている事実」と自分が行った研究の成果の区別ができていない。「先行研究に対する自分の研究の位置付け」「研究の社会的意義」も曖昧である。	情報の並べ方が不適切で、聴いていても何が言いたいのか、また、何が明らかになったのか分からない。	大幅な時間の超過、あるいは不足である。プレゼンテーションを抜本的に考え直す必要がある。